

令和4年度事業報告

公益財団法人として、新潟県における県民文化の高揚を図り、県民の生活向上と文化の発展に寄与するため、各種の文化振興事業を実施しました。

I 財団運営業務

1 評議員会・理事会の開催

例年どおり財団の事業計画、予算及び決算を決議又は承認するため、並びに財団と新潟県との一体化の方針決定と財団解散等に向けた必要事項を決定するため、次のとおり評議員会並びに理事会を開催しました。

(1) 評議員会の開催

	開催日・会場・出欠状況	審議事項・報告事項・協議事項
定時 評議員会	令和4年6月21日 白山会館 出席評議員 8名 欠席評議員 2名 出席理事 2名 出席監事 1名	【議案審議事項】 ・・・いずれの議案とも提案どおり決議 1 令和3年度事業報告及び同附属明細書について 2 令和3年度貸借対照表、正味財産増減計算書及び同附属明細書並びに財産目録について 【報告事項】 1 令和4年度事業計画について 2 令和4年度収入支出予算について 3 令和4年度資金調達及び設備投資の見込みについて 4 公益財団法人新潟県文化振興財団と新潟県との一体化（財団廃止）に係る理事会の方針について
臨時 評議員会 第1回	令和4年11月14日 書面決議 評議員全員の書面同意	【議案審議事項】 1 公益財団法人新潟県文化振興財団定款の一部変更について 2 公益財団法人新潟県文化振興財団評議員会運営規則の一部改正について 【報告事項】 1 令和4年度事業計画の変更について 2 令和4年度収入支出補正予算について
臨時 評議員会 第2回	令和5年3月28日 書面決議 評議員全員の書面同意	【議案審議事項】 1 清算人の選任等について 2 残余財産の処分について 【報告事項】 1 令和4年度収入支出補正予算（最終）について 2 清算事務年度（令和5年度）収入支出予算について

(2) 理事会の開催

	開催日・会場・出欠状況	審議事項・報告事項・協議事項
臨時理事会 第1回	令和4年4月15日 書面決議 理事、監事、顧問全員の同意	【議案審議事項】 1 (公財)新潟県文化振興財団と新潟県の一体化に係る県に要望する事項について
通常理事会 第1回	令和4年5月30日 白山会館 出席理事 5名 出席監事 2名 顧問出席 1名	【議案審議事項】・・・いずれの議案とも提案どおり決議 1 令和3年度事業報告及び同附属明細書について 2 令和3年度貸借対照表、正味財産増減計算書及び同附属明細書並びに財産目録について 3 公益財団法人新潟県文化振興財団評議員選定委員会運営規程の一部改正について 4 公益財団法人新潟県文化振興財団と新潟県の一体化(財団廃止)に係る理事会の方針決定について 5 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について
臨時理事会 第2回	令和4年10月24日 白山会館 出席理事 5名 出席監事 2名 顧問出席 1名	【議案審議事項】・・・いずれの議案とも提案どおり決議 1 令和4年度事業計画の変更について 2 令和4年度収入支出補正予算について 3 臨時評議員会の招集にかかる日時及び場所並びに目的である事項等について 4 公益財団法人新潟県文化振興財団就業規則(退職手当関連)の一部改正について 5 公益財団法人新潟県文化振興財団の解散に伴い代表理事が定める職員の退職手当について 【報告事項】 ・令和4年度上半期職務執行状況について 【その他】 ・新潟県文化振興財団の解散・清算に向けた今後の進め方について
通常理事会 第2回	令和5年3月15日 白山会館 出席理事 5名 出席監事 2名 顧問出席 1名	【議案審議事項】・・・いずれの議案とも提案どおり決議 1 令和4年度収入支出補正予算(最終)について 2 臨時評議員会の招集にかかる日時及び場所並びに目的である事項等について 3 清算事務年度(令和5年度)収入支出予算について 4 評議員候補者の推薦について 【その他】 ・一体化後(令和5年度)の財団引継事業(県事業)の事業計画(案)等について

2 組織体制

財団事務局の業務を円滑に進めるため、次の体制で効率的な管理運営を図りました。

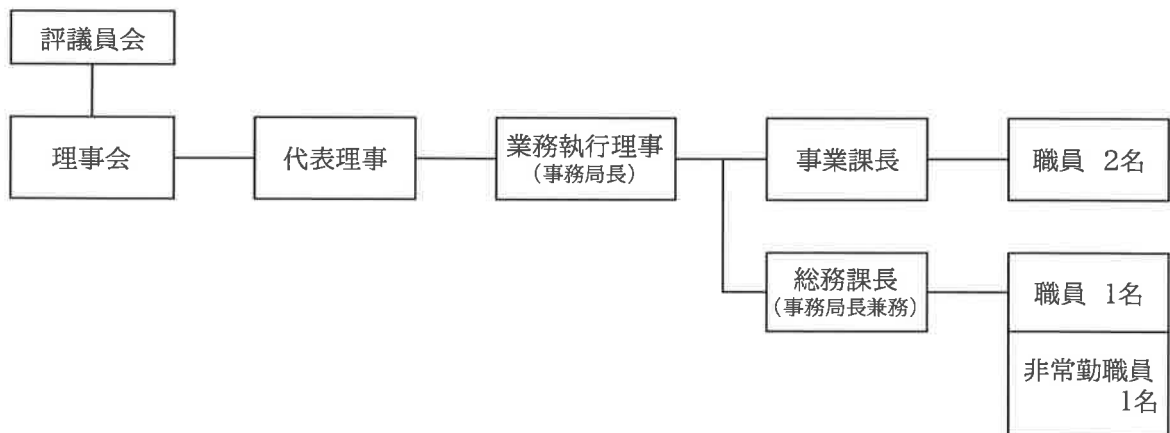
(1) 役員等の人数 (令和5年3月31日現在)

評議員 (10名)
理事 (5名) 理事内訳< 代表理事(1名)+業務執行理事(1名)+ 理事(3名) >
顧問 (1名)
監事 (2名)

(2) 職員数 (令和5年3月31日現在)

事務局長	職員	非常勤職員	計	備考
1名	4名	1名	6名	

(3) 組織図 (令和5年3月31日現在)



3 基本財産の管理運用

当財団財産管理運用規程第4条(基本財産運用方針)及び第6条(運用対象)の規定に基づき、基本財産12,193千円を定期預金として継続的に安定した管理運用を行っています。

Ⅱ 事業体系

1 文化振興事業費 71,951千円 《公益目的事業会計 71,951千円》

(1) 文化自主事業	47,167千円
① 芸術文化普及・ホール活性化支援事業	21,228千円
② 地域中核ホール活性化支援事業	7,666千円
③ ふれあいホッとコンサート	1,204千円
④ 国際音楽交歓コンサート 2022	3,148千円
⑤ 新潟ステージチャンネル魅力発信事業	13,332千円
⑥ 事務費	589千円
(2) 文化活動支援事業	18,943千円
① 県民文化活動推進事業	8,310千円
② 国民文化祭参加事業	120千円
③ 郷土の文化人顕彰事業	9,750千円
④ その他(新潟県美術総合展褒章事業)等	763千円
(3) 情報収集提供事業	5,082千円
① 文化情報誌「カルチャーにいがた」発行事業	5,082千円
② オンライン情報提供事業	
(4) 文化関係機関連携事業	
(5) 財団事業実施記録データ保存事業	759千円

2 管理費 42,745千円

《公益目的事業会計 24,115千円、法人会計 18,630千円》

(1) 人件費	38,568千円	《公益目的事業会計 23,032千円	法人会計 15,536千円》
(2) 運営費	4,178千円	《公益目的事業会計 1,083千円	法人会計 3,095千円》

総事業費計 114,697千円 《公益目的事業会計 96,067千円、法人会計 18,630千円》

Ⅲ 事業概要

1 文化振興事業《公益目的事業会計 事業費 71,951 千円》

(1) 文化自主事業

《事業費 47,167 千円》

- ① 芸術文化普及・ホール活性化支援事業（県補助金対象事業） 21,228 千円
日頃「生の演奏」に接する機会の少ない県民に「身近で手頃な」鑑賞機会を提供するとともに、低迷する地域のホールの活性化を支援するため、県内各地域と共催で各種公演を実施しました。なお、新型コロナウイルス感染症の影響等により、延期したコンサートがありました。また、限られた財源を有効に活用するため、当財団が中心となって県内 10 団体と実行委員会を組織し、令和 4 年度も文化庁の補助金を活用して事業を行いました。
- マイタウンコンサート： 2 会場で実施
粟島浦村（小中学校体育館）、関川村（村民会館）
- ニッセイ名作シリーズ「リトルゾンビガール」： 1 会場で実施
南魚沼市民会館
- 藝大フィルハーモニア管弦楽団： 1 会場で実施
ニューイヤーガラコンサート 2023 長岡市立劇場
- 舞台芸術を活用した県民参加・体験拡大プロジェクト実行委員会事業
： 8 会場で実施
- ・鼓童交流公演 2022 津南町文化ホセンター
糸魚川市民会館
 - ・キッズのためのはじめての音楽会 小千谷市民会館
 - ・パパゲーノの愉快的音楽冒険 上越市はーとぴあ中郷
 - ・はじめての落語 見附市文化ホール
 - ・劇団四季ミュージカル「人間になりたがった猫」 長岡市立劇場
越後妻有文化ホール
 - ・キエフ・クラシック・バレエ 柏崎市文化会館
「チャイコフスキー夢の 3 大バレエ」
- ② 地域中核ホール活性化支援事業（財団独自財源事業） 7,666 千円
県民会館で培ったノウハウをもとに、おおむね 1,500 席程度の地域中核ホールと共催で質の高い公演を実施しました。
- 劇団四季ミュージカル「ロボット・イン・ザ・ガーデン」 上越文化会館
- 東京バレエ団「くるみ割り人形」※ 新潟県民会館
（※舞台芸術を活用した県民参加・体験拡大プロジェクト実行委員会事業で実施）
- ③ ふれあいホッとコンサート 1,204 千円
財団の事業や基本財産の運用で得た利益を社会還元するため、身体的な理由等でホールに足を運べない人々を対象にアウトリーチによるコンサートを県内 11 箇所（高齢者施設や病院、特別支援学校）で開催しました。
- ④ 国際音楽交歓コンサート 2022 見附市文化ホール 3,148 千円
世界有数の音楽院出身者をはじめ世界の主要コンクールで入賞歴をもつ一流のアーティストを招聘し、優れた鑑賞機会の提供と文化交流を図る目的で開催。4 年ぶりの開催となり、より多くの国々の演奏家を紹介できるよう「国際音楽交歓コンサート」として開催した。

- ⑤ 新潟ステージチャンネル魅力発信事業 13,332 千円
 新型コロナウイルス感染症の影響により、活動、発表の場を失っている文化団体・個人等の活動を支援するため、YouTubeの「新潟ステージチャンネル」で、活動動画を公募し、配信することで活動の場を提供しました。
 ・公募動画配信数： 一般 80 件 、 学校 13 件

- ⑥ 事務費 589千円

(2) 文化活動支援事業	《事業費 18,943 千円》
---------------------	------------------------

- ①・② 文化活動支援助成金 8,430千円
 県民の文化への関心を高め、自主的な文化活動の活発な展開と個性豊かな県民文化の振興に寄与するため、県内の文化団体等の活動に対し15件の助成決定をしましたが、事業の黒字化で1件が取り下げをし、結果、14件の助成を行いました。
 また、国民文化祭に参加する団体、個人を対象に3件の助成を行いました。

○対象事業と助成額

事業名称	事業内容	助成 件数	助成額 (単位：千円)
① 県民文化活動推進事業	地域性、独自性、継続性の点で優れた活動に対する助成	14	8,310
② 国民文化祭参加事業	文化庁が主催する国民文化祭に出演する活動に対する助成	3	120

- ③ 郷土の文化人顕彰事業 9,750千円
 国民文化祭の関連事業として、郷土の文化人についてその功績を明らかにし、地域文化とその価値の再認識を図る事業を委託により実施しました。

○委託先：(公財)にいがた文化の記憶館

○委託業務内容：以下の企画展及び「にいがた文化ネットワーク事業」

- ・「生誕 130 年記念 直木賞作家県人第 1 号・鷺尾雨工」
- ・「有恒学舎創設 増村朴斎」
- ・「生誕 110 年 宮 柊二」

- ④ その他(新潟県美術総合展褒賞事業)等 763千円

次代を担う若手美術家の育成を図るため、新潟県美術展覧会(県展)、新潟県芸術美術展(芸展)において優秀な成績を収めた者(主に展覧会における若手・新人)に、公益財団法人新潟県文化振興財団賞を授与しました。

- ・対象美術展：新潟県美術展覧会(県展)、新潟県芸術美術展(芸展)
- ・表彰点数：県展7部門(洋画、日本画、版画、彫刻、工芸、書道、写真)
 ：芸展6部門(同上(版画を除く))
- ・授与物：賞金3万円及び表彰楯(県展・芸展共通)

(3) 情報収集提供事業**《事業費 5,082 千円》**

県内外の催事情報や芸術関係情報、県内アーティスト等の文化関連情報を収集し、文化情報誌「カルチャーにいがた」、ホームページを通して県民に提供しました。

事業名	事業内容
① 文化情報誌「カルチャーにいがた」発行 5,052千円	○年4回発行 1回13,000部(A4判16ページ) ○配布先(無料配布) ホール、博物館・美術館、図書館、金融機関、ホテル、JA関係施設、大学等
② オンライン情報提供事業 —	県が管理運営する「新潟文化物語」にイベント情報を一元化し、情報登録する関係者の手間を省くことで、漏れのない情報を財団HPからのリンクで県民に提供(スマートフォンやタブレットでも対応)。このほか、Facebook、Instagramでの情報発信も実施。

(4) 文化関係機関連携事業**① 文化事業情報交換会**

県内文化関係者(興行主催者が中心)が一堂に会し、興行計画等の情報を提供し合い意見交換会を行いました。(当財団が事務局)

- 令和4年7月20日(水) 18団体、35名参加
- 令和5年3月6日(月) 18団体、40名参加

**② 令和4年度「舞台芸術を活用した県民参加・体験拡大プロジェクト実行委員会」事業
《事業費：別途 実行委員会会計》**

文化庁の補助金対象事業である「文化芸術創造拠点事業」について、県内10団体で実行委員会(当財団が会長・事務局)を組織し、20事業34公演を実施しました。

(5) 財団事業実施記録データ保存事業**(事業費 759 千円)**

財団が設立以来実施してきた文化振興事業等の実施記録データを整理し、記録媒体に保存しました。